

アステラスメールマガジンです。

今回は、4月27日に発表した2025年度決算の概況、最近のニュースと新たなストーリーの公開についてお知らせします。

2025年度の連結業績は、売上収益・コア営業利益・営業利益のすべてでアステラス発足以来過去最高値を達成しました。

売上収益は、初めて2兆円の大台を突破し、前期比11.9%増の2兆1,392億円となりました。5つの重点戦略製品（PADCEV、IZERVAY、VYLOY、VEOZAH、XOSPATA）の合計売上は、前期比43%増の4,800億円に到達しました。

コア営業利益は、重点戦略製品の拡大と、全社レベルでコスト最適化を追求する取り組みであるSustainable Margin Transformationを通じた費用管理により、前期比41.6%増の5,557億円となりました。コア営業利益率は前期比で5.5パーセントポイント上昇し、26.0%となりました。フルベースの営業利益は3,826億円と、前期比で大幅に増加しました。

決算短信や決算説明会資料などを当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

IRミニトピックス

《IR関連情報》

■「IRライブラリー」を更新しました

4月27日発表 2025年度決算関連資料を掲載しています。

<https://www.astellas.com/jp/investors/financial-results-library#section-accordion-2d408d5df9-0>

4月27日開催 2025年度決算説明会の模様をご覧ください。

<https://www.irwebcasting.com/20260427/1/index.html>

■4月15日 setidegrasib (ASP3082) KRAS G12D変異陽性転移性膵臓がん患者を対象とした国際共同第III相試験を開始

当社が独自に創製したKRAS G12D変異体を標的とする新規のタンパク質分解誘導剤setidegrasib (ASP3082) について、KRAS G12D変異陽性転移性膵臓がん（PDAC）患者の一次治療を対象に、mFOLFIRINOXまたはNALIRIFOXとの併用療法の有効性および安全性を評価する第III相試験において、最初の患者への投与を開始しました。

アステラス製薬の研究開発担当（CRDO）の谷口 忠明は、「KRASは数十年にわたり、克服が困難な腫瘍促進因子として認識されてきました。特にKRAS G12Dは、複数のがん種において高いアンメットメディカルニーズが存在する標的です。KRAS G12Dを標的としたタンパク質分解剤であるsetidegrasibを第

III相試験へ進めることができたことは、アステラス製薬にとって重要なマイルストーン達成であり、私たちの標的タンパク質分解誘導剤領域における高い専門性と研究開発能力に対する戦略的投資の価値を示すものです」と述べています。

[プレスリリースへのリンク](#)

■4月21日 抗体-薬物複合体PADCEV™（エンホルツマブ ベドチン）ペムブロリズマブとの併用療法についてシスプラチン適応の有無に関わらず、筋層浸潤性膀胱がんの術前術後の補助療法としてFDAが適応追加に関する承認申請を受理、優先審査指定

Pfizer Inc.と共同で開発を進めている抗体-薬物複合体PADCEV（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMerck & Co., Inc.の抗PD-1抗体Keytruda（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））またはKeytruda QLEX™（ペムブロリズマブ+ベラヒアルロニダーゼ アルファ-pmph）の併用療法について、シスプラチンを用いた化学療法に適応のある筋層浸潤性膀胱がん（MIBC）患者を対象とした術前術後の補助療法として、米国食品医薬品局（FDA）により生物学的製剤一部変更承認申請が受理され、優先審査の指定を受けました。

本併用療法は、2025年11月に、シスプラチン不適応のMIBC患者に対する術前術後の補助療法としてFDAの承認を取得しています。今回の申請は、シスプラチン適応の有無に関わらず、MIBC患者全体への適応拡大を目的とするものです。審査終了目標日は2026年8月17日と定められました。

[プレスリリースへのリンク](#)

■4月27日 人事異動に関するお知らせ

2026年7月1日付で、トップマネジメントの人事異動を行います。岩屋 孝彦氏が2026年7月1日付で入社し、経営戦略担当（Chief Strategic Officer）に就任します。

[プレスリリースへのリンク](#)

■「価値観と行動規準」に関するストーリーを公開しました

アステラスは、組織基盤の強化に向けて、当社の価値観と行動規準を再定義し、展開しています。今回、その取り組みを紹介する2本のストーリーを公開しました。

前編「患者さんのための価値観と行動規準を再定義」では、患者さんへの「価値」創出を軸に、60以上に分散していた社内の指針を、3つの価値観と5つの行動規準へと整理・再定義した背景や考え方をお伝えしています。

後編「価値観と行動規準を、実践へ」では、それらの価値観と行動規準を、世界各地の拠点でどのように実践し、企業カルチャーとして定着させてきたのかに焦点を当てています。各地域の具体的な取り組み事例や、自発的でボトムアップなアプローチを通じた展開の様子を紹介しています。

ぜひご覧ください。

[患者さんのための価値観と行動規準を再定義
価値観と行動規準を、実践へ](#)

120文字のアステラス

人の体はくすり工場

ご存知でしたか？

がん細胞は、体の中で、毎日生まれ、
消えている事実を。

そのがんが消えていくのは、

人の体が、自ら特效薬を

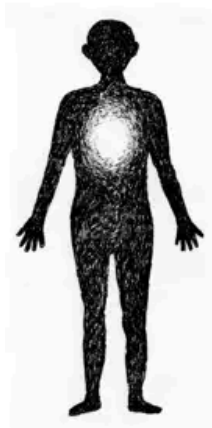
創ってくれるから。

体の中の、くすりの工場。

抗体医薬の、大切なお手本。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

早いもので、ゴールデンウィークが目前に迫ってきました。街を彩っていた桜はすっかり青々とした葉桜になり、時折混じる風に初夏の気配を感じるようになりました。

新年度から生活に変化があった方々も、新しい環境や生活に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。明日からゴールデンウィークに入る方もいらっしゃるかもしれませんが。張り詰めていた気持ちを少し緩めて、道端に咲くツツジや爽やかな青空を眺めながら、心穏やかに休日を過ごしてみるのも良いかもしれませんね。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvvg61>

アステラスメールマガジン No.130 (2026/4/28)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社（編集：広報 IR）

お問い合わせ先：<https://www.astellas.com/jp/form/individual-investors-contact>



Copyright 2026 Astellas Pharma Inc. All rights reserved.